

# みえ県議会だより

NO. 125

12

平成 24 年 (2012)  
No. 341  
毎月 1 日発行

## 災害に備えた「自助」の 取り組みを進める県民運動を

山本 勝 議員

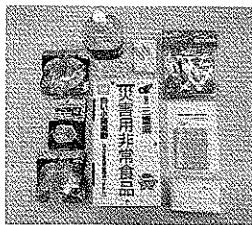
(自民みらい/桑名市・桑名郡選出)



### 問

地震や津波などの災害から命を守るためには、建物の耐震化や家具の固定、発災後速やかに避難することなど「自助」の取り組みが最も重要です。避難路整備やハザードマップ作成などの「公助」の取り組みを行っても県民自らが行動しない限り、被害軽減にはつながりません。

このような「自助」の取り組みを進めるためには、県民運動が最も効果的と考えますが、県で展開していく考えはありますか。



災害用個人備蓄品「白い小箱」

### 答

県民一人一人が「自助」の考えのもと防災意識を高め、実際の行動につなげることが最も重要だと考えており、これまでも「自助」の取り組みを促す活動を進めてきました。今年度から、新たに個人備蓄の推進などを通じた防災意識の啓発を目的とした「白い小箱運動」に参画します。このような活動が起爆剤となり「自助」を促す県民運動の展開・発展につながるよう積極的に取り組んでいきます。

### その他の質問事項

○平成25年度の県政運営に向けた考え方 ほか

